

わくわく

1月号

本だな

1 2 3 年



ホームページも
みてね!

えほん



E 『ウサギのソロモン、へんしんする』
 ウィリアム・スタイグ／作・絵 さくまゆみこ／訳 徳間書店
 ソロモンは、いつでもさびたクギにへんしんすることができます。ある日
 チョウチョウをつかまえていると、おそろしい声こゑが聞こえてきました。ソロ
 モンの後ろに、ナイフを持ったネコがいたのです。ソロモンは走ってにげ
 ると、クギにへんしんしました。ところが、へんしんに気がついたネコは、ク
 ギになったソロモンをポケットに入れて、家に帰ってしまいます。

ものがたり

K913 『ななちゃんのたからもの』
 小手鞠い／作 すずきみほ／絵 岩崎書店
 本が大好きなきくの。「本のほかに友だちなんで、いなくてもへいき」と思っ
 ているけれど、本当はちょっとさびしい気持ちもありました。ある時、アメリカにい
 るおばあちゃん、「ななちゃん」に会いに行くことになります。ななちゃんは、き
 くの森の友だちの小鳥や、うさぎをしょうかいしてくれました。きくのはゆう
 きを出して、うさぎのみみちゃんに話しかけてみます。



ものがたり



K913 『やっぱり犬がほしい』
 スギヤマカナヨ／作 アリス館
 ぼくの家には、パルという名前なまえの犬がいます。パルは、ぼくたち家族のおとも一員で
 す。パルをかうとき、ぼくはお父さんとお母さんといろんなやくそくをしました。
 やくそくを守ることはたいへんだけど、パルといっしょにすごす毎日まいにちは、楽しく
 て、すてきです。けれども、ぼくとパルの時間じかんは、同じではありませんでした。
 パルは、ぼくよりもずっと早く年を取っていくのです。

ちしきのほん

E 『リスのエビフライ探検帳 マツボックリの大変身!』
 飯田猛／著 技術評論社
 お皿さらの上に、エビフライがのっています。とてもおいしそうですが、
 これらは本物ではありません。森にくらすリスがかじったマツボックリ
 が、エビフライそっくりの形かたちになったのです。この本では、リスがエ
 ビフライを作る様子ようすをしょうかいします。



わ く わ く

1月号

本だな

4 5 6 年



ホームページも
みてね!



K913 『ひみつだけど、話します』

堀川理万子／作・絵 あかね書房

電車が好きな足立くんには、ひみつがあります。それは、目玉を動かしていると、電車が止まったように見えて、乗っている人がはっきりと見えることです。いつものように電車を見ていると、通りかかった同級生の小川さんに、「なにしてるの?」と声をかけられました。足立くんは、小川さんにだけひみつを教えてあげることになります。

一方で、ひみつを教えてもらった小川さんにも、ひみつがあるようです。

物語

K933 『いまにヘレンがくる』

メアリー・ダウニング・ハーン／作 もりうちすみこ／訳
借成社

モリーは、母の再こんで田舎の教会へ引っこしてきました。新しくヘザーという妹ができましたが、ヘザーはいじわるばかりして、モリーたちを受け入れません。そんなある日、モリーは教会の墓地で、ヘザーがヘレンと名のるゆうれいと話しているのを見つけました。ヘザーの身に危険がさまっていると感じたモリーは、「ヘレンに近づいてはいけない」と言いますが、ヘザーは何度もヘレンに会いに行きます。モリーはヘザーを救うため、ヘレンにひとりで立ち向かうことを決めました。



物語

ちしきの本

E 『すごい!ミミックメーカー 生き物をヒントに世界を変えた発明家たち』

竹内薫／監修 クリステン・ノードストロム／文
ポール・ボストン／絵 西村書店

ミミックメーカーとは、生き物の優れたところをまねして、便利な発明品を作る人のことです。この本には、10人のミミックメーカーが登場します。新幹線の開発責任者である仲津英治は、そのひとりです。英治は、バードウォッチングで見たカワセミを参考にして、新幹線を新しくデザインしました。列車の先頭をカワセミのくちばしのようにとがらせることで、静かに、速く走ることが可能になったのです。



図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね!〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200